リーフとは

電気自動車の特徴

電気自動車ってどんな車？ P.10

安全にご利用いただくために

電気自動車の取り扱いに関する注意事項 P.11
電気自動車が事故にあったときの注意事項 P.12

EV の上手な運転のしかた

航続可能距離を延ばす運転 P.13
バッテリーを長持ちさせるには P.14

便利なサポート機能

タイマー機能 P.15
ナビゲーションシステムのサポート機能
（ナビゲーションシステム付車） P.16

電気自動車ってどんな車？

電気自動車（EV）は、従来のエンジン付車と比較して、いくつかの特徴があります。

リチウムイオンバッテリー

EV はガソリンを使用せず、リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力で走行します。
そのため、給油する代わりにリチウムイオンバッテリーを充電します。
CO_2（二酸化炭素）や NOx（窒素酸化物）といった排気ガスを一切出さないため、環境に優しい車両です。

モーター

リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力を使用して、エンジンの代わりにタイヤへ動力を伝えます。

回生ブレーキ（減速時、制動時）

アクセルペダルから足を離しているときや、ブレーキペダルを踏んでいるとき、タイヤの回転力をモーターで電気エネルギーに変換することで制動力を発生させ、減速しながらリチウムイオンバッテリーを充電します。

車両接近通報装置

EV はエンジンの代わりにモーターで走行するため、エンジン付車に比べて、音と振動が少なくとても静かです。
周囲の人に車両の接近を知らせるために車両接近通報装置を装備しています。

知識

- リチウムイオンバッテリーは、使用を繰り返すと徐々に容量が低下します。これはバッテリー本来の特性であり、家電製品と同様に異常ではありません。使用状況により異なりますが、新車時の容量を 100%とすると、5 年が経過したときに約 80%になると予測しています。
- 次の場合は回生ブレーキが作動せず、摩擦ブレーキのみで制動力を発生させます。
  - EV システムまたはブレーキシステムに異常があるとき
  - ABS または VDC が作動しているとき
- 回生ブレーキが作動しているときは、ブレーキペダルの踏みごたえが変化することがありますが、異常ではありません。

電気自動車の取り扱いに関する注意事項

EV を適切に取り扱うため、次のことを必ずお守りください。

警告

- EV システムは、最大で約 400V の直流高電圧が使用されるため、走行用モーターの作動中や停止直後に高温になることがあります。車両に貼られているラベルの記載事項に従い、高電圧と高温に注意してください。
- 感電を防ぐため、高電圧配線やコネクター、高電圧部品（インバーターユニットやリチウムイオンバッテリーなど）には触れないでください。
- リチウムイオンバッテリーは、不適切な方法で処分すると環境汚染につながります。廃車やリチウムイオンバッテリーの処分については、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- リチウムイオンバッテリーの損傷を防止するため、次のことをお守りください。
  - 外気温が 49℃以上の場所に 24 時間以上放置しない
  - 外気温が－ 25℃未満の場所に 7 日間以上放置しない
  - リチウムイオンバッテリー残量計の目盛りが 0（ゼロ）か、ほぼ 0（ゼロ）の状態で 14 日間以上放置しない
- 車両を長期間使用しないときは、3 ヶ月に 1 回ロングライフモード（➔P.25）で充電してください。放置するとリチウムイオンバッテリーを損傷するおそれがあります。

電気自動車が事故にあったときの注意事項

事故が発生したときは、次のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- 高電圧部品および高電圧ケーブルが露出している場合は、絶対に触れないでください。
- リチウムイオンバッテリーに漏れや損傷が見られる場合は、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。火災が発生するおそれがあります。
- 車室内や車外に液体が漏れているときは絶対に触れないでください。万一、リチウムイオンバッテリーから漏れた液体が皮膚や衣服に付着したときは、水道水などのきれいな水で洗い流し、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 走行中に床下に強い衝撃を受けたときは、安全な場所に停車し、損傷がないか点検してください。床下に損傷が見られる場合は、絶対に触れず速やかに日産販売会社にご相談ください。
- リチウムイオンバッテリーや高電圧部品から火災が発生したときは、できるだけ早く車両から離れてください。消火するときは、必ず電気火災用の消火器（ABC、BC または C タイプ）を使用してください。また、消火栓などから大量の放水が可能な場合のみ、水での消火も可能です。不適切な消化作業は危険なため、絶対に行わないでください。
- けん引が必要なときは、前輪または 4 輪を持ち上げてけん引してください。けん引時に前輪が接地していると、走行用モーターが発電し、車両を損傷するおそれがあります。
- 車両が損傷し、安全であることを確認できない場合は、車両から離れ日産販売会社にご連絡ください。連絡するときは、電気自動車であることを伝えてください。
- 板金・塗装による修理が必要な場合は、必ず日産販売会社にご連絡ください。万一リチウムイオンバッテリーのバッテリーパックが損傷しているときなどは、自動車の整備に関する知識がないと重大な傷害を受けるおそれがあります。

航続可能距離を延ばす運転

次のようなことに気をつけると、1 回の充電でより長い距離を走ることができます。

お出かけ前のポイント

- 充電ケーブルが接続されている間にタイマーエアコンまたは乗る前エアコン（リモート）★で車室内を快適な温度にしておく。走行を始めてからのエアコンの消費電力を抑えることができます。
- 上り坂は、航続可能距離に大きく影響するため、目的地までの走行ルートを確認し、上り坂の少ないルートを選択する。ナビゲーションシステム付車は、目的地を設定するときに消費電力の少ないルートを設定できます。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
- 不要な荷物は積んだままにせず、必要な荷物だけを載せる。
- タイヤの空気圧が低下していないことを確認する。

運転するときのポイント

- 急発進、急加速をせず、なめらかに発進、加速する。
- 車間距離に余裕を持ち、急ブレーキを極力避ける。
- 高速道路などでスピードを出しすぎないようにする。
- エアコンの温度設定を控えめにし、必要のないときはエアコンを OFF にするよう心がける。エアコンを送風で使うと効果的です。
- 寒いときは、エアコンの代わりにシートヒーター、ステアリングヒーターを使用する。エアコンに比べて消費電力を抑えることができます。
- ECO モード（➔ P.91）を ON にして走行する。加速時やエアコン作動時の消費電力を抑えたり、回生ブレーキを強くして回収する電力を増やすことができます。

知識

- 航続可能距離が大幅に減少する場合は、次のようなことが原因として考えられます。
  - 走行するルートの地形に上り坂が多い
  - 高速道路など、速度の速い走行を続けている
  - 頻繁に急発進、急加速、急ブレーキをしている
  - 急速充電、高速走行の繰り返しなどでリチウムイオンバッテリーが高温になっている
  - 荷物を積みすぎている
  - 経年使用により、リチウムイオンバッテリーの容量自体が低下している

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

バッテリーを長持ちさせるには

次のようなことに気をつけるとリチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。

充電するときのポイント

- 長距離走行をしないときは、ロングライフモード（充電量 80%）で充電する。
- 満充電に近い状態で繰り返し充電を行わない。
- できるだけ急速充電を控え、普通充電で充電する。
- 急速充電を頻繁に行うときは、ロングライフモード（充電量 80%）で充電する。

運転するときのポイント

- 高速道路などでスピードを出しすぎない。
- 車間距離に余裕を持ち、急な加速や減速をしない。
- 不要な荷物を積んだままにしない。

そのほかのポイント

- 外気温が極端に高い、または低い場所で車両を保管しない。
- 充電量が極端に低いまま放置しない。
- 車両を長期間使用しないときは、3 ヶ月に 1 回ロングライフモード（充電量 80%）で充電する。

知識

- リチウムイオンバッテリーは、時間の経過、充電と走行を繰り返すことなどで、徐々に蓄電能力が低下します。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、異常ではありません。

タイマー機能

タイマー充電

普通充電にはタイマー機能があり、充電の開始・停止時刻を予約できます。ナビゲーション画面で充電を行う時間帯を予約しておくことにより、料金の安い夜間電力時間帯に充電ができます。

タイマーエアコン

エアコンにはタイマー機能があります。ナビゲーション画面で出発時刻を予約しておくことにより、出発前に冷房または暖房を作動させて車室内を快適な温度にします。

知識

- ナビゲーションシステム無車は、メーターでタイマー充電、タイマーエアコンを設定できます。

ナビゲーションシステムのサポート機能（ナビゲーションシステム付車）

初めて電気自動車を運転される方やドライブ計画を立てるのに便利なサポート機能が装備されています。
詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

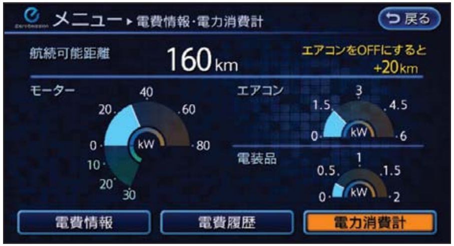
地図画面で確認する

- **到達予想エリア**
  現在のリチウムイオンバッテリー残量でどのくらいの範囲が走行できるのかを地図上で確認できます。

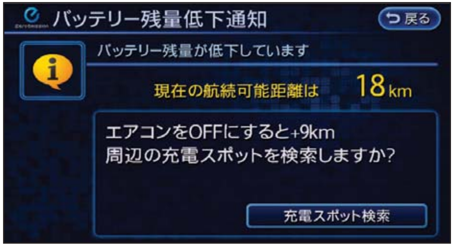
- **充電スポット検索**
  地図上に急速充電スポットアイコンおよび普通充電スポットアイコンを表示できます。アイコンをタッチすると、目的地に設定したり、充電スポット情報を見たりすることができます。

走行中に表示する

- **電力消費表示**
  モーター、エアコン、電装品の消費電力を表示します。また、エアコンのON・OFFによる航続可能距離の増減も確認できます。



- **バッテリー残量低下通知**
  現在の航続可能距離では目的地に到達できない場合やメーター内のバッテリー残量警告灯 が点灯した場合、ナビゲーション画面にバッテリー残量低下通知を表示します。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ナビゲーションシステムのサポート機能（ナビゲーションシステム付車）

お持ちのパソコンや携帯電話を使用して、充電状況や充電プラグの挿し忘れを通知したり、充電やエアコンを離れた場所からリモート操作できます。詳しい操作方法については、“N-Link OWNERS サイト（http://n-link.nissan.co.jp/MANUAL）”をご覧ください。

充電情報を通知する★

- **バッテリー状態チェック**
  離れた場所からでも現在のリチウムイオンバッテリーの状態を確認できます。

- **プラグ挿し忘れ通知**
  よく充電を行う場所を登録しておくと、充電をするときにプラグ挿し忘れがあった場合、メールで通知します。

- **充電停止通知**
  充電が停止すると（リモート充電の場合は開始も含む）メールで通知します。

リモート機能★

- **リモート充電**
  離れた場所からすぐに充電開始を操作できます。

- **乗る前エアコン（リモート）**
  タイマーエアコンを設定していなくても、車に乗る前にエアコンの作動開始を操作できます。

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

MEMO